

外国語(英語)問題用紙 (1/2)

受験番号	
氏名	

I 次の英文の全文を日本語に訳しなさい。

出典: Gillies, D., *Educational Leadership and Michel Foucault*, London and New York:
Routledge, 2013, First issued in paperback 2015, 20頁3行目~27行目.

外国語(英語)問題用紙 (2/2)

受験番号	
氏名	

II 次の英文の全文を日本語に訳しなさい。

出典: Franks, B. D., Howley, E. T., and Iyriboz, Y., *The Health Fitness Handbook*,
Champaign, IL: Human Kinetics, 1999, 156頁5行目~24行目.

<注> cardiorespiratory: 心肺の



外国語(日本語)問題用紙 (1/2)

受験番号	
氏名	

I 次の文章を読んで、下の問いに日本語で答えなさい。

(出典：田端博邦『幸せになる資本主義』朝日新聞出版、2010年、242頁3行目~244頁11行目より、一部改変)

- 問1 下線部①~⑤の読み方をひらがなで書きなさい。
- 問2 とに、「自分の決定」「自由な決定」のいずれかの語を書き入れなさい。
- 問3 下線部(A)「市場社会は、すべての個人を自由なものと想定する」にかかわり、本文では、「市場社会」とはどのようなものと説明されているか、記述しなさい。
- 問4 下線部(B)「言葉の正しい意味において『自己責任』を語りうるために」、筆者は何が必要であると主張しているか。本文に即して説明しなさい。



外国語(日本語)問題用紙 (2/2)

受験番号	
氏名	

II 次の文章を読んで、下の問いに日本語で答えなさい。

(出典：中村高康『暴走する能力主義—教育と現代社会の病理』筑摩書房、2018年、176頁1行目～177頁8行目より、一部改変)

- 問1 下線部①～⑤の読み方をひらがなで書きなさい。
- 問2 に入る言葉を、下の中から選びなさい。
たとえば まさに ところが あるいは
- 問3 下線部(A)「露骨な大学別格差をつけてもやっていける」のはなぜか、本文に即して説明しなさい。
- 問4 下線部(B)「教育拡大・高学歴化は、メリトクラシーの再帰性を高める」とはどういうことか。本文に即して説明しなさい。

外国語(ドイツ語)問題用紙 (1/2)

受験番号	
氏名	

I. 次のドイツ語文のうち4行目の *Der nationalsozialistische Staat* から最後の文までを日本語に訳しなさい。

(出典: Dietrich Benner / Herwart Kemper (2005). *Theorie und Geschichte der Reformpädagogik: Teil 3.1: Staatliche Schulreform und Schulversuche in SBZ und DDR*, Weinheim und Basel: Beltz Verlag. 35頁30行目~36頁11行目)

外国語(ドイツ語)問題用紙 (2/2)

受験番号	
氏名	

II. 次のドイツ語文をすべて日本語に訳しなさい。

(出典: Susanne Frank / Anne Sliwka (Hrsg.) (2016). *Eltern und Schule: Aspekte von Chancengerechtigkeit und Teilhabe an Bildung*, Weinheim und Basel: Beltz Juventa. 127 頁 22 行目~28 行目)

教育科学 問題用紙（1 / 4）

受験番号	
氏名	

以下の21領域の中から、各自の志望研究領域を含む2領域を選択し、日本語で解答しなさい。

解答に際しては、1領域あたり解答用紙1枚で解答することとし、選択した領域名を、解答用紙の所定の欄に必ず記入しなさい。また、問題用紙と解答用紙のすべてに受験番号と氏名を記入しなさい。試験終了時に、問題用紙と解答用紙はすべて回収する。

[教育史領域]

次のうち、いずれか一問を選んで解答しなさい。

1. 日本教育史研究の研究史における、地方教育史から地域教育史への展開について論述しなさい。
2. 現在の日本の教育改革に際して示唆を得るうえで西洋教育史研究が寄与する点について、具体例をあげながら論述しなさい。

[教育行政学領域]

日本に居住する外国人児童・生徒の「教育を受ける権利」について、教育法的に論じなさい。また、外国人児童・生徒の「教育を受ける権利」の現状と課題について、知るところを述べなさい。

[社会・生涯教育学領域]

社会的排除の克服をめざす社会教育・生涯学習の実践が求められている理由について、今日の社会状況と国際機関の文書から説明するとともに、具体的な問題を1つとりあげて、それにかかわる実践の展開方法について論じなさい。

[技術教育学領域]

日本における技術の定義をめぐる理論を紹介し、それが技術教育に与えた影響について述べなさい。

[職業・キャリア教育学領域]

職業の社会的、および経済的意義について述べ、さらにそれを踏まえて日本の職業教育の特徴について述べなさい。

教育科学 問題用紙（2 / 4）

受験番号	
氏名	

[学校情報学領域]

人工知能技術のひとつであるディープラーニング（深層学習）について解説し、学校教育を含む教育や学習へのその応用の可能性について論じなさい。その際、その肯定的影響と否定的影響も検討すること。

[カリキュラム学領域]

2018年3月に告示された高等学校学習指導要領によって、いくつかの新しい科目が新設された。公民科においては、新科目として「公共」が設けられたが、この「公共」の特徴について述べた上で、この科目が創設された背景と新科目を実施する上で予想される課題について述べなさい。

[教育方法学領域]

授業記録を使った校内研修の具体例を示した上で、その必要性と課題について論じなさい。

[教育経営学領域]

学校経営においてミドルリーダーが果たす役割について、これまでの政策動向を踏まえて論じなさい。

[教師教育学領域]

教師は授業においてどのような知識をもとにどのように思考しているかについて、実証的な研究が進められている。このような研究の概要を説明した上で、これらが日本の教師教育の課題に対して示唆するところを論じなさい。

教育科学 問題用紙（3 / 4）

受験番号	
氏名	

[人間形成学領域]

現代社会における民主主義と教育の関係について考察する際、最も説得的だと思ふ捉え方（理論、思想、哲学など）をとりあげ、その積極面と消極面について論述しなさい。

[教育人類学領域]

義務教育段階における公立学校の学校選択をめぐる問題について、具体的な国・地域をとりあげ、教育人類学的な観点から論じなさい。

[教育社会学領域]

高等教育の「機能」について、教育社会学の視点から多角的に論じなさい。

[比較教育学領域]

高等教育における留学政策のあり方について、特定の国・地域をとりあげ、比較の観点から論じなさい。

[大学論領域]

日本の高等教育において、専門職大学院や専門職大学はどのように位置づけられるのか、それらの創設の背景、内容、意義、問題点等を踏まえて説明しなさい。

教育科学 問題用紙（4 / 4）

受験番号	
氏名	

[高等教育学領域]

1991年の大学設置基準の大綱化が、大学の一般教育に与えた影響について、3点述べなさい。

[生涯体力科学領域]

「フレイル」とその予防・改善方法について説明しなさい。

[健康運動科学領域]

「肥満」と「過体重」それぞれの定義を示し、両者の共通点と相違点、ならびに寿命との関連について具体的に論じなさい。

[スポーツマネジメント領域]

2000年以降のツール・ド・フランス(自転車レース)におけるスポーツ・インテグリティに関わる具体的事例を説明しなさい。

[スポーツバイオメカニクス領域]

回転するボールに作用するマグヌス力について説明しなさい。

[スポーツ生理学領域]

加齢が骨格筋に及ぼす影響について説明しなさい。